

部落対抗ソフトボール大会

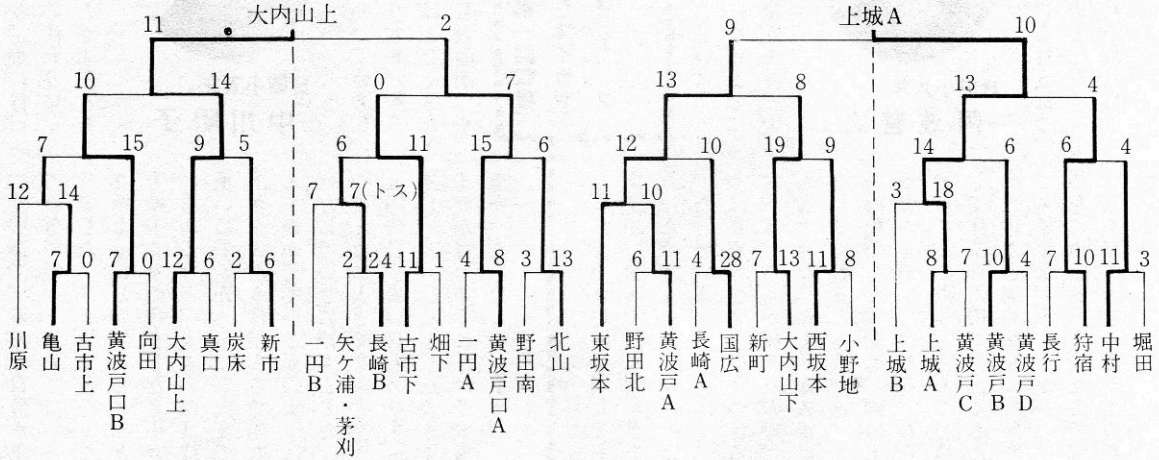
日置中グラウンド

8月16日

農高グラウンド

優勝 大内山上
準優勝 黄波戸口A

優勝 上城A
準優勝 東坂本



青少年キャンプに参加して

日置小6年 沖原 丘恵

私は、このキャンプに昨年も参加しました。暑くて、終って家へ帰った時は、もうくたくたでした。しかし、今年も参加しようと思いましたが、それは、あの暑さの中での三日間、みんなを協力し、生活する中で自分に何事にもいっしょけんめいと取り組んでやりとげていく力をつけたかったからです。私たち五班は八名のメンバーです。テントを二つたてねばなりません。くいを打つまでに支柱をたてるのが大変でしたがやとみんなで大変でした。飯ごうでたくさんは、何回かおこげごはんになり

“読書のひろば”

新刊図書

図 書 名	著 者 名
伊達政宗(1)~(8)	山岡 荘八
広中家の個性主義教育	広中和歌子
日本の古代遺跡	森 浩一
知将秋山真之	生出 寿
昭和の子どもたち(写真集)	学 研
知将児玉源太郎	生出 寿
暮しの手帖 3	

ました。家が家でつくって貰っている食事より少しちがっておいしい味がしました。日が暮れてくると日本海に漁り火がパッパツとついて気がついてみると海に星が浮かんでいるようで、空の星が海まで続いているようでした。キャンプファイヤーでは雨乞山から降りて来られた火の神の前で各班がスタンツを演じダンスをし、楽しみました。最後に私たちは火の神から友情の火をさずかりました。

食事のあとかたづけも、わがままを言わずにみんなでした。タワシがない時は、枯草をタワシのかわりにしたらしいことをなりました。

青年団の人達のおかげで私はいろいろなことを学びました。私はこの体験をこれからの生活にいかしていこうと思います。